

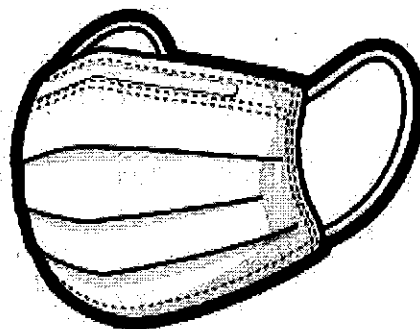
## やっぱり・・・

「こうなるだろう」と予想はしていましたが、まさか3週間の延長とは思っていませんでした。皆さんご存知の通り、コロナウィルス新規感染者数が高止まりの状態、加えて若年層の発症者も多くなっており、島原半島内でも学級閉鎖や閉園の対応を行ったという事例が続出しています。学校においては、改めて手指の消毒、不織布マスクの着用、教室の換気等の徹底を確認したところです。

その際、改めてお願いしたのが、“不織布マスク着用”の徹底です。新型コロナウイルス流行初期には世界中で不織布マスクが不足したために、布マスクやウレタンマスクが持てはやされましたが、最近はその不足も解消され、何より感染防止の観点(防ウィルス効果の高さ等)から“不織布マスク”を用いることが推奨されています。ということで、生徒には“不織布マスク”をつけて登校させるよう、ご理解とご協力を重ねてお願いいたします。

ところでこの“不織布”。何と読むかわかりますよね。答えは“ふしょくふ”です。なかなか読みづらい漢字ですよ。では“不織布”とはどんなものなのか。けっこう“紙”だと思っている人も多いようですが、実は違います。紙の原料は木や草などから作られるパルプですが、マスクの原料を確認してみると、殆どの製品がポリプロピレンやポリエチレンなのです。また、“布”は縦糸と横糸があり、糸や繊維を織ったり編んだりして作られています。それに対して“不織布”は、字のごとく織ったりしておらず、繊維を一定方向またはランダムに集積して化学的に接着させたり、熱処理や機械などで結着させたりしたものです。

再度、確認します。まん延防止等重点措置の延期に伴い、部活動も3月6日(日)まで中止となりました。ご了承ください。



## 思いを込めて！！



卒業証書授与式まで1ヶ月を切りました。今年もコロナ禍のため来賓をお招きせず、国歌斉唱も伴奏のみとしました。ただ、校歌と贈る歌(1・2年)、別れの歌(3年)はマスクを着用して歌うように計画しています。というのも、音楽担当の宮野先生に確認したところ「生徒の式歌への思いを強く感じます。だからこそ、歌わせたい。」とのことでしたので、ぜひ実現したいと思っています。ただし、まん延防止等重点措置が再度延期されたり、加津佐近辺で発症者が出たりした場合は再度検討し、状況によっては合唱を中止するかもしれません。そうならないことを心から願っています。彼らの思いがこもった歌声が、本番で体育館いっぱい響き渡ることを期待しています。